VS嵐

カルピスフロート

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ＶＳ嵐

【Ｎコード】
Ｎ５９１９Ｘ

【作者名】
カルピスフロート

【あらすじ】
ついにレギュラー化！小説版ＶＳ嵐ついに始まりました！
ゲストチームが嵐と様々なオリジナルゲームで対戦。各ゲームの合計ポイントが多い方の勝利！！
［プラスワンゲスト募集！！］プラスワンゲストに参加したい人は、感想に、氏名・年齢・性別・喋り方など、細かい詳細を書いて送ってください。登録していただければ、何度でも出場出来ます。前回の戦いの模様　スマブラＶＳ嵐ｈｔｔｐ：／／ｎｃｏｄｅ．ｓｙｏｓｅｔｕ．ｃｏｍ／ｎ４６４１ｔ／八つ巴ＳＰ

ｈｔｔｐ：／／ｎｃｏｄｅ．ｓｙｏｓｅｔｕ．ｃｏｍ／ｎ５３３８ｕ／

出演者：嵐（大野智、櫻井翔、相葉雅紀、二宮和也、松本潤）
ナレーション　伊藤利尋（フジテレビアナウンサー）

#1　マリオブラザーズVS嵐（前書き）

人物の表示

櫻井⇒櫻井翔
二宮⇒二宮和也
松本⇒松本潤
相葉⇒相葉雅紀
大野⇒大野智

『』無し⇒ナレーション　伊藤利尋（フジテレビアナウンサー）
□⇒テロップ
（⇒効果音
／
⇒観客
＼

です。

#1　マリオブラザーズVS嵐

［VS嵐］

嵐「VS嵐!!」

櫻井「なんと、ついにVS嵐（小説版）レギュラー化が決定しました!」

［祝!!レギュラー化］

＼
イエー
／

二宮「うれしいよね。「なろう」でもレギュラー化だなんて。」

相葉「コレ一発目のゲスト気になる所だよね。」

櫻井「じゃあ、早速だけど呼んじゃいましょう。
本日の対戦ゲストこちらの方々です。どうぞ！」

（プシュー（嵐の後方からｃｏ２ガス噴出）

ルイージ「ど～も～。」

マリオ「第１回目～！！！」

／
キャ～！！
＼

櫻井「本日の対戦ゲストは、マリオブラザーズチームです！」

［マリオブラザーズ　チーム］

［マリオ　　ルイージ］

／

イエー

＼

ルイージ「よろしくお願いします。」

櫻井「あれ？お二方は過去2回も出てくれてますよね？」

ルイージ「1回目はスマブラチームとして出て、
2回目はマリオファミリーチームで出ましたね。」

大野「で、成績は？」

マリオ「スマブラでは、負けて、マリファミでは5位タイ（笑）」

二宮「（笑）あの、ごめんなさい。それって、お二方はまだ勝ち星を挙げてないってことですか？」

ルイージ「そうです。」

マリオ「そうです。」

櫻井「まだ勝ててないということは、今回は3度目の正直を狙うということですね。」

ルイージ「その通りです。」

櫻井「分かりました。それでは、今からゲストチームは我々、嵐チームと、3つのゲームで戦っていただき、合計得点が多かった方が、勝者となります。」

櫻井「では、最初の対決に参りましょう！」

#1　マリオブラザーズVS嵐（後書き）

［プラスワンゲスト募集！！］プラスワンゲストに参加したい人は、感想に、氏名・年齢・性別・喋り方など、細かい詳細を書いて送ってください。登録していただければ、何度でも出場出来ます。

マリオブラザーズチーム　ピンボールランナー（前書き）

ピンボールランナー

ルール

巨大ピンボール台から転がり落ちてくるボールをキャッチするゲームです。

ランナーは動くベルトコンベア上を走りながらボールを頭上に設置したカゴでキャッチし、司令はそのキャッチする人にボールが落ちてくる場所を指示します。

キャッチする人は指示する人に従い、

ボール１個につき１０ポイント

ピンクボールをキャッチすると３０ポイントが加算されます。

ボールを2個キャッチするごとにベルトコンベアのスピードが上がります。

マリオブラザーズチーム　ピンボールランナー

二宮「最初のステージは　ピンボールランナ～！」

／
イエ～
＼

記念すべき、レギュラー化一発目、ＶＳ嵐、最初のゲームはピンボールランナーです。

まずは、マリオブラザーズチームの挑戦。

ランナーは、マリオさんでーす！

／
イエー
＼

そして、司令台は、ルイージさんでーす！

／
イエー
＼

このゲームは、『スマブラＶＳ嵐』でも挑戦したゲームですが、お２方はやったことありますか？

ルイージ「僕は司令台をやったことあるんで、慣れてると言えば慣れてると思います。」

マリオ「じゃあ、大丈夫だよな。１人だし、だいぶ有利だから。」

ルイージ「うん。分かった。」

では、参ります。　ピンボールランナー　スタート！

ＳＴＡＲＴ

さあ、ベルトが作動しました。上からボールが落ちてきた。これをキャッチ出来るか。

ルイージ「３．３」

さあ、ルイージさんの指示が飛んでいる。

ルイージ「４！」

１つ目のボールが入った。早くも１０秒経過。

マリオ「もっと早く！」

ルイージ「７！６！」

２つ目が入りました！ベルトのスピードがアップ！

ＳＰＥＥＤ　ＵＰ

ルイージ「２２２！」

なかなか入らない！ここまで２つしか入ってない！

（ドンっ

1つ目のピンクボールが発射された！取れるか！

ルイージ「ピンク6．444！」

マリオ「あ！無理だ！」

マリオさん取れない！1つ目のピンク外しました！

ルイージ「8！8！」

ここで2つをダブルゲット！

ＳＰＥＥＤ　ＵＰ

さらに、マリオさんが腰を後ろに反らして１つゲット！

残り２０秒。そろそろピンクくるか！

（ドンっ

ルイージ「ピンク来た！９．８か９！」

マリオ「よしっはいった！」

２つ目のピンクはキャッチ！見事キャッチしました！

ＳＰＥＥＤ　ＵＰ

残り１０秒！

ルイージ「１．１３！」

マリオさんが懸命に走る！

そこまでーーー！

／

イエー
＼

得点は、黄色５つピンク１つで、８０ｐｔｓでーす！

マリオ「疲れた…。」

ルイージ「まぁまぁだったね。」

マリオ「これ疲れる…」

マリオブラザーズチーム　ピンボールランナー（後書き）

現在の得点

［マリオブラザーズ　８０ｐｔｓ］

［嵐チーム　０ｐｔｓ］

嵐チーム　ピンボールランナー（前書き）

久々の投稿です。

最近、どうも調子が上がらない…

あと、作者は野球部になるかもしれません。
なので、更新がさらに遅くなるかも…

嵐チーム　ピンボールランナー

さあ、後攻、嵐チームの挑戦。

ランナーは、松本くんでーす！

／
イエー
＼

／
イエー
＼

そして、司令台には、櫻井くんでーす！

［嵐チームは、レギュラーハンデとして２０％ＯＦＦカゴで挑戦］

さあ、マリオブラザーズチームは８０ｐｔｓという得点を獲得しましたか、勝てそうですか？

松本「正直言うと…その点数微妙だよね。」

櫻井「うん。微妙だね。」

マリオブラザーズ「それさっき言ってよ！」

／

ハハハハハハ

＼

［先ほどは巻きだったので…］

二宮「でもさ、Ｊと翔さんっていうコンビは珍しくない？」

櫻井「珍しいね。」

松本「一回練習しよう。」

櫻井「９！７９！」

松本「ピンクが２に来たら！？」

櫻井「ピンク２！！！」

松本「ＯＫ。」

それでは、参ります。

ピンボールランナー　スタート！

櫻井「２！２…あっ３。」

スタートの合図と同時にベルトが作動。櫻井くんの指示が飛ぶ！

１つ目の黄色ボールゲット。

櫻井「7、7、7，7、」

2つ目の黄色ボールもゲット！

ＳＰＥＥＤ　ＵＰ

さあ、ベルトのスピードがアップ。ここからどこまで取れるのか。

）ドンっ

さあ、ピンクボールが発射された！

櫻井「ピンク４！！！！ピンク４！！！！」

（コンっ

入ったーー！櫻井くんの気迫の指示で1つ目のピンクボール入りました！

松本「良し！ピンクゲット！」

櫻井「6，6、7。」

3つめの黄色も入った。

ＳＰＥＥＤ　ＵＰ

残り３０秒。現在６０ｐｔｓです。

櫻井「1、3、3…」

体を前に反らしてダブルゲット！そろそろピンクが出るか？

ＳＰＥＥＤ　ＵＰ

）ドンっ

２つ目のピンクが来た！取れるか？

櫻井「4，4，3…あっピンク８！！！！」

しかしこれは取れない！松本くんもピンクを諦めた様子だ！

その間に６つ目の黄色ゲット！

ＳＰＥＥＤ　ＵＰ

残り１０秒

９

８

７

櫻井「９、９９９．」

1　2　3　松本くん取れるか…これはかごの縁。　4　5　6

そこまでーーー！

櫻井「あっこれ結構行けたんじゃない？」

松本「（ハァハァ…行けたね。」

得点を発表します。

黄色ボールが６つ。ピンクが１つで、９０ｐｔｓでーす！

／
イエー
＼

櫻井「俺らもなんだかんだいって９０ｐｔｓしか取って無かったね。

」

松本「そうだね。黄色1個差だけって…」

マリオさん。今のを見て、こっから勝てそうですか？

マリオ「勝てそうです。なぜか。」

なんと、次のゲームは、小説になろう限定の新ゲームをご用意してます！

櫻井「え？マジで！？」

松本「てことは、つまり作者考案ってことですよね。」

そういうことです。まずは、このピンボールランナーは、嵐チームのリードで終えました。

嵐チーム　ピンボールランナー（後書き）

現在の得点

［マリオブラザーズ　８０ｐｔｓ］

［嵐チーム　　９０ｐｔｓ］

マリオブラザーズ　新ゲーム　フィッシングターゲット　ルール説明（前書き）

なんと、なろう限定の新ゲーム登場！

マリオブラザーズ　新ゲーム　フィッシングターゲット　ルール説明

大野「新ゲーム　フィッシングターゲット～！」

＼イエー／

マリオブラザーズＶＳ嵐第２ゲームは、なんと新ゲーム　フィッシングターゲットです。

それではルールを説明します。

「フィッシングターゲット　ルール」

縦４ｍ横４ｍの水槽の中にあるターゲットを、アングラー（釣り人）が釣るゲームです。

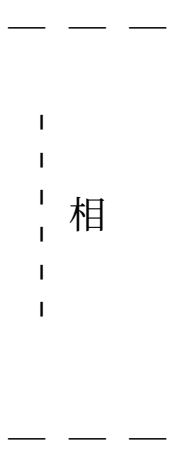
アングラーは、高さ３ｍの台の上に乗り、水槽の中のターゲットを釣り上げます。
しかし、アングラーの手前にはフェンスがあり、水槽の様子を見る事が出来ません。

アドバイザーは、ゲーム開始前に、水槽の様子を、３秒だけモニターで確認し、
アングラーに、ターゲットの場所に釣り竿を誘導します。

ターゲットについては、ゲーム開始時相手チームが設置します。
なお、水槽には、分かりやすいように、縦横１ｍ四方に、番号がかいてあります（全１６番）

制限時間は１００秒で、残り３０秒になると、双方のフェンスが開放され、水槽が見えるようになります。

［横からの図］



［展開図］

まずは、マリオブラザーズの挑戦。

アングラーは、ルイージさんでーす！

／
イエー
＼

そして、アドバイザーは、マリオさんでーす！

／
イエー
＼

さあ、小説家になろう。限定の新ゲームですが…

櫻井「すいません。これはなぜ作られたのですか？」

作者（スタッフサイド）「キッキングスナイパーって、櫻井くんの得意スポーツに合わせて、
二宮さんが作ったなら、
大野さんの得意な釣りをゲームにしてみました。」

大野「どうもありがとうございます。」

もちろんこの後の嵐チームは、大野くんがフィッシャーを務めるんですか？

作者（スタッフ）「もちろん。」

まずは、アングラーのルイージさん。釣りの経験はありますか？

ルイージ「マリオパーティでこの手のゲームは何回もやってますから。」

例えばどんなものがありますか？

ルイージ「1だったら『マリオブルー』だったり、4だったら『ブルブルフィッシング』とか…」

二宮「1の『おたからフィッシング』とかね。」

マリオ「おっ！良く知ってる！」

二宮「あれ難しかったんだよな～。宝箱をどのタイミングでスティック離して掴むか。」

ルイージ「あれは僕らも難しかった！特に掴んだ後巻くのが！」

二宮・マリオ「あれは難しかった！！」

マリオ「よく飛ばして外して凄い時間ロスしてそれで『あわわわわ～』ってなるよね！」

二宮・ルイージ「なるなる！」

櫻井「あの～…その話は後で楽屋でしていただけませんか？」

二宮「あっすいません。ゲーマーの血が騒いじゃって。」

大野「つーか俺の釣り好きはどこ行ったんだ！！（怒）」

／
笑）
＼

アドバイザーのマリオさん。記憶力が重要になってくるゲームですが、大丈夫ですか？

マリオ「自信あります。出来ると思います。」

なるほど。分かりました。

では、嵐チームは、ターゲットを設置していただきます。

櫻井「あっ。ちゃんとフックが付いてるんだ。」

ターゲット（標的）は、全部で１０個あります。
それぞれ、５ポイントが６つ　１０ポイントが４つ　２０ポイントが２つあります。

大野「どれ置こうかな～。」

嵐チームはとりあえず、水槽にターゲットを思い思いに置いた。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

1　？　？　4
？　6　7　？
9　？　？　？
？　？　？　？

［○で囲っていない数字は、ただの番号である。］

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

では、マリオさんに、3秒だけ見せます。覚えてください。

パッ

1

2

3

パッ

覚えられましたか？

マリオ「まあだいたいは…。」

では、参ります。フィッシングターゲット　スタート！

マリオブラザーズ　新ゲーム　フィッシングターゲット　ルール説明（後書き）

解説の図がヘタですいません。

それと、二宮さんとマリオ、ルイージさんのトークのせいで、
ゲーム開始出来ませんでした。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n5919x/

VS嵐

2011年11月16日11時10分発行